

2020 年度統計関連学会連合第 6 回理事会・組織委員会 議事録

日 時：2021 年 4 月 24 日（土）13:30 – 15:00

場 所：オンラインにより実施

出席者：

【学会連合理事】

理事長	岩崎 学
応用統計学会	富澤貞男，松浦正明
日本計算機統計学会	足立浩平，小木しのぶ
日本計算機統計学会(2021 年度)	山本義郎
日本計量生物学会	松井茂之，寒水孝司
日本行動計量学会(2021 年度)	狩野 裕
日本統計学会	川崎 茂，山下智志
日本統計学会(2021 年度)	樋口知之，大森裕浩
日本分類学会	栗原考次，富田 誠
日本分類学会(2021 年度)	宿久 洋

【連合大会実行委員会】

西井龍映

【連合大会運営委員会】

久保田貴文，飯塚誠也

【連合大会プログラム委員会】

坂本 亘，黒田正博

【JJSD 編集委員長】

青嶋 誠

幹事

阿部貴行，石岡文生，大草孝介

組織委員会・審議事項

1. 2021 年度連合大会の開催方法について

西井実行委員長より，2021 年度統計関連学会連合大会の開催方法について次の通り報告がなされた。現在の新型コロナウイルスの状況（感染の第 4 波が生じ変異ウイルスの比率が増加し大阪や東京などで緊急事態宣言が再度出され，鎮静化の時期が見通せない状況）を鑑み，長崎大学において大規模の対面学会を禁止する判断がなされた。それを受け急遽，岩崎理事長と連合大会 3 委員長で議論がなされ，2021 年度の連合大会は完全オンラインで実施することが適切であるとの合意に至った。組織委員会における審議の結果，2021 年度連合大会は完全オンライン開催への変更が承認された。

2. 2021 年度連合大会 3 委員会における進捗状況について

久保田運営委員長より，2021 年度連合大会の予算案について説明がなされた。急遽開催方法が完全オンラインに変更されたため，暫定的な予算案が提示された。今後，連合大会本部の設置に伴う支出や協賛の収入などを迅速に検討し予算案を修正し固定する。暫定的な予算案から大きな変更はないと考えられる。完全オンライン開催であっても支出に大きな変化はないため，参加費は変更しないことが組織委員会において承認された。岩崎理事長より，3 委員会に過大な負担がかからないように予算を作成してほ

しい旨が述べられた。組織委員会における審議の結果、当該予算案が承認された。

坂本プログラム委員長より、プログラム作成について説明がなされた。22 の企画セッションが提案されている。対面希望のものについては、各オーガナイザーにオンラインへの変更の可否を早急に確認する。プレナリーセッションは前回報告したように UCLA School of Public Health の Banerjee 教授による講演を予定している。本年のプレナリーセッションは日本統計学会の科研費による支援を受け JJSD セッションとして実施する。栗原理事より、2021 年度連合大会の開会式の実施について質問がなされ、西井実行委員長から開催校からの挨拶を含め実施する旨が回答された。

2021 年度連合大会のお知らせ（第 3 報）については、例年通り 5 月上旬の連絡を予定していたが、3 委員長で速やかに内容を見直し遅れが最小となるように作業し速やかに公表する。

3. 2022 年度連合大会について

岩崎理事長より、2022 年度連合大会の開催地については合意に至っておらず、決定は 2021 年度の統計関連学会理事長に依頼したい旨が説明された。これまでの経緯については、岩崎理事長から新理事長に引き継がれる。

連合理事会・審議事項

1. 2020 年度事業報告・会計報告について

- ・ 岩崎理事長より、2020 年度に統計関連学会連合が実施した事業について、以下の通り説明があり、審議の結果、承認された。
 - 統計関連学会連合理事会・組織委員会の開催
 - 2020 年度統計関連学会連合大会の開催
 - Japanese Journal of Statistics and Data Science (JJSD) の発刊
 - 科学研究費補助事業令和元年度研究成果公開促進費（国際情報発信強化）採択に伴う措置
 - 統計質保証推進協会からの業務委託事業の実施
 - 各種事業への共催・後援・協賛
- ・ 阿部幹事より、2020 年度の会計報告について説明があり、審議の結果、承認された。また次の通り補足説明があった。
 - 収入では、新型コロナウイルスの影響で昨年度は統計質保証推進協会からの収入が 0 円となり、支出は昨年とほぼ同額であった。単年では黒字の収支であった。なお、残金のうち 300 万円は連合大会からの預かり金であり、非常事態の際に支出可能なものである。

2. 2021 年度事業計画について

- ・ 岩崎理事長より、2021 年度の統計関連学会連合の事業計画（既に決定しているもの）について、以下の通り説明があり、審議の結果、承認された。
 - 統計関連学会連合理事会・組織委員会の開催
 - 2021 年度統計関連学会連合大会の開催
 - Japanese Journal of Statistics and Data Science (JJSD) の発刊
 - 事業委員会、統計教育推進委員会の開催

- 統計質保証推進協会からの業務委託事業の実施
- 各種事業への共催・後援・協賛

連合理事会・報告事項

1. JJSD の現状について

青嶋編集委員長より、JJSD の現状について次の通り報告があった。

- ・ 査読日数について、2020 年度は前年度に比べ、投稿から初回返答および採択までの日数が共に増加した。査読の速さは雑誌のよさの重要な基準であるため、査読の体制を見直した。
- ・ 2020 年度の論文ダウンロード数、投稿数および採択率がそれぞれ報告された。
- ・ 特集号については、2022 年度 6 月号は栗原理事が covid-19 関連の特集を組み、12 月号は岩崎理事長がデータサイエンス関連の特集を組む。
- ・ JJSD は 2020 年 10 月より transformative journal となっており、将来的には open-access journal に転換することを目標としている。
- ・ インパクトファクター獲得に向けて、ESCI (emerging sources citation index) 掲載への審査を受けている。ESCI 掲載の要件に変更があったため、Springer 社からの種々の依頼に対し、青嶋編集委員長を中心に対応した。審査結果が得られ次第、理事会に報告する。

2. 令和 3 年度統計エキスパート人材育成プロジェクトについて

山下理事より、文部科学省からの令和 3 年度統計エキスパート人材育成プロジェクトの公募に対して統計数理研究所が代表機関として応募する旨が説明された。本プロジェクトは本邦において不足が指摘されている統計学を網羅的に教育できる教員を育成することを目的とするものであり、最も連携が必要となる統計関連学会連合に協力機関（参画機関にならない大学、組織、学会等）になってほしい旨の依頼がなされた。審議の結果、承認された。

2. 2021 年度連合理事会・組織委員会の日程について

岩崎理事長より、2021 年度連合理事会組織委員会の通常のカ開催時期が確認された。

3. 後援・協賛について

岩崎理事長より、前回理事会から本日まで、次の事業・会議に後援したことが報告された。

- ・「数学・数理科学専攻若手研究者のための異分野・異業種研究交流会 2021」日本数学会、日本応用数理学会、統計関連学会連合 主催
- ・「文部科学省共同利用・共同研究拠点 認定申請」九州大学マス・フォア・インダストリ研究所 後援
- ・「データサイエンスから見た人工知能」講演会 統計数理研究所 後援
- ・産学連携シンポジウム AIMaP 共催、オープンハウス連携イベント「データサイエンスが描き出す「モノづくり」の未来シナリオ」 統計数理研究所 後援